

## 第 43 回

# びわこ学園実践研究発表会のご案内

テーマ：その人らしさが輝く、人生への支援  
～びわこ学園 61 年目からの歩み～

利用者の重度・重症化や高齢化、また、その生活を支える職員の確保など、たくさんの課題を抱える中で、第 43 回びわこ学園実践研究発表会では、びわこ学園の 61 年目からの歩みが始まるにあたり、びわこ学園の設立時の理念にある「発達保障」について、特に障害の重い人たちの「発達とは何か」「その人の発達を保障するとは」について、みなさんと学び、考える機会としたいと思います。

研修の設定につきましては、講演の部と実践報告の部の 2 部構成で、オンラインによる研修会といたします。講演の部につきましては、「発達保障」について、垂髪あかり先生にご講演をいただきます。また、実践報告の部につきましては、日々の支援実践の中から、各事業所でテーマを設定し実践の評価、分析をおこない報告し、ご参加の皆さまとともに検討させていただきたいと思っております。

多くの方々のご参加をお待ちしております。



□ 日時：2024年12月14日（土）

13:00 ～ 16:45

□ 開催方法：オンライン研修（当日ライブ配信）

□ 参加費：無料

□ お申し込み方法

ご案内の QR コード、あるいはホームページよりお申し込みください。  
必要事項を入力し送信ください。

**★申し込み締め切り 11月30日（土）**

\*お申し込み後、1 週間経っても事務局より返信がない場合はお電話にてご確認くださいませよう、よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人びわこ学園 担当:高木

(077-587-1154)



主催 社会福祉法人びわこ学園

後援 びわこ学園後援会

## ～ プログラムおよび内容 ～

開会：ご挨拶・進行説明 13:00～

講演の部 13:10～14:40（意見交換含む）

テーマ 「いま、もう一度、発達保障の原点に立ち返り見えてくるもの」  
～60年前にタイムスリップして、糸賀一雄、岡崎英彦と対話する試み～

講師 垂髪（うない） あかり 氏

鳴門教育大学大学院 高度学校教育実践専攻教育系 幼児教育コース 准教授

神戸大学大学院人間発達環境学研究科博士課程後期課程修了。博士（教育学）。助産師として新生児集中治療室（NICU）勤務、教諭として特別支援学校勤務を経て、神戸松蔭女子学院大学 教育学部教育学科 准教授に。2024年4月より現職。専門は重症心身障害児教育、肢体不自由教育。目下3人の育児にも奮闘中。著書に『くよこへの発達』とは何か』、『近江学園・びわこ学園における重症児者の「発達保障」—くよこへの発達』の歴史的・思想的・実践的的定位—』、『糸賀一雄研究の新展開 ひとと生まれて人間となる』（共著）など。

実践報告の部 14:50～16:40

各報告時間25分（質疑含む）

### □ 報告1 びわこ学園医療福祉センター草津

「精神的不安定さが呼吸状態の悪化を招く利用者の声門閉鎖術施行に向けた看護援助の実際」  
～発達段階の異なる2事例の振り返りを通して～

**概要**：昨年度、意思疎通が図れる利用者2名が呼吸状態に悪化を来し、人工呼吸器が必須となり声門閉鎖術を受けることとなった。利用者の発達段階を踏まえながら、理解や承認を経て精神的安定を図り手術に臨んだ経過を発表する。

### □ 報告2 びわこ学園医療福祉センター野洲

「高齢の重症心身障害者に対し最後まで「食べること」を支援した一例」  
～多職種で最後まで本人らしさを支える～

**概要**：利用者にとって「意味のある作業」に焦点を当てて実践することの重要性、そしてその実践には継続的に関わりながら利用者の支援に携わることが大切である。今回は「人との関わりや食べること」が好きだった88歳の利用者Aさんに対し、永眠までの3年間に多職種で進めた支援の経過を報告する。

### □ 報告3 びわこ学園障害者支援センター 重症心身障害者通所施設えがお

「重症心身障害者における日中活動の持続性について」  
～9年間取り組んでいるおやつ活動の実際～

**概要**：人や空間への環境適応に弱さがあり、その変化に対して筋緊張の亢進や嘔吐などがあるBさんの事例から、おやつ活動で必要となる操作への取り組みや工夫、作業工程の見通しの持ち方、スーパーへの材料の買い出し、作ったおやつを身近な方へ振舞う社会参加活動から本人の持つ柔軟性や適応性にどのような変化が見られたかを報告する。

### □ 報告4 知的障害児者地域生活支援センター

「強度行動障害を呈するCさんが持っている力を発揮するための環境整理」

**概要**：行動障害を呈するCさんの支援事例では、環境整備や言語化により、Cさんの動機や意図を理解し、日課に活かすことで自律性が向上した。本人理解を深め、強みを活かす支援が有効であることの報告をする。

閉会

16:45